

幼保小連携・接続公開研修会資料

平成30年1月30日

あやめ台幼稚園

I 本日の保育について

- 1 各担任より活動のねらいやこれまでの経過説明、実践の振り返り、今後に向けて
- 2 本日の保育に関して、質疑応答

II アプローチカリキュラム作成の流れと方法

1 作成の目的

- ① 自園の保育実践を見直して方法や内容を共通理解し、幼児や教師にとって最適なカリキュラムを考える。
- ② カリキュラム作成を通して滑らかな幼稚園教育と小学校教育の連続のための方法を考える。

2 作成の方法

アプローチカリキュラムの作成に際して、以下の流れで進み、それぞれの内容をふまえて進めた。

① 本園の教師たちの動き

- 年長組の経験のある教職員でプロジェクトチームを結成
- これまでの各教師が実践した指導計画の中で10の姿につながる配慮、援助、環境構成などの洗い出し、共通理解したうえで、精選してカリキュラムに加えた
- 翌月の指導計画作成を進める他、実践してみても他にも配慮した点などは各担任が記録する（10月以後の毎月）
- プロジェクトチームの教師たちは以下の活動内容をふまえてカリキュラムの作成に取り組む

② 幼稚園教師と小学校の先生方との交流、情報交換

- あやめ台小学校の1年生の授業の様子を参観（4月下旬）
- あやめ台小学校の校長先生、教頭先生、1年生・2年生担任の先生方と意見交換（7月）。

③ コーディネーターの個別支援

- アプローチカリキュラムをどのように考えて作成するかの話し合い（7月）
- これまでの指導計画の中から洗い出した配慮点、援助、環境構成などを月別、経験・活動ごとに分けて、どの10の姿につながるかを分類、理解する（8月）
- 書き出した配慮点、援助、環境構成などをパソコンで打ち込みデータ化する。
アプローチカリキュラムの表形式を話し合い、データの整理をする（9月）
- 公開研修会に向けて、研修会の内容および説明の仕方についての確認（12月）。

④ 園児と小学校（小学生）との交流

- 小学校で地域の小学生、中学生たちが参加する音楽フェスティバルに参加、発表
- 小学校の校庭を使つての運動会練習（年長組 9 月）
※今年度の運動会は、雨天延期のため園庭で実施
- 小学校 2 年生の生徒が、町探検で本園を訪問（10 月）
- 小学校にて、保育園・幼稚園・小学校の交流会（年長組、1 年生、6 年生、さくら学級）
- 小学校にて、モーモースクール見学（千葉県酪農農業組合連合会による出張授業）（全園児 11 月）
- 幼稚園の音楽発表会リハーサルに 6 年生を招待（12 月）
- 小学校の校舎見学（年長組 1 月）
- 園の修了式に小学校の先生を招き、祝辞をいただく（3 月）

⑤ その他

- 互いの配布物（学校だより、給食だより、保健だより、以上小学校）、（行事予定、学年だより、以上幼稚園）の交換。園では小学校の手紙の掲示コーナーを作成。
- 給食の献立や行事・活動について、年長組担任たちがクラスで話題に取り上げる。

3 これらの流れの中でわかってきたこと、カリキュラム作成に生かされること

- ① 教師たちの動きから
- ② 幼稚園教師と小学校の先生方との交流、情報交換から
- ③ コーディネーター、幼保支援課の個別支援・指導から
- ④ 園児と小学校（小学生）との交流から